

日本原子力学会 2006 年秋の年会
保健物理・環境科学部会企画セッション
「炭素 14 の環境中移行研究の現状と今後の展開」

日時：2006 年 9 月 28 日 9:30 ~ 12:00

場所：北海道大学

座長 (名大) 山澤弘実

- (1) 樹木年輪を用いたセラフィールド再処理施設からの炭素 14 大気放出量の再評価
(日本分析セ) 磯貝啓介
- (2) 閉鎖型生態系実験施設での C-13 を用いた大気・食物を介するヒトへの炭素移行実験計画
(環境科技研) 多胡靖宏
- (3) 河川環境における粒子及び溶存態 C-14 の移行挙動
(北大) 長尾誠也
- (4) 森林炭素 14 循環と環境問題への展開
(原子力機構) 小嵐 淳 (名大) 山澤弘実
- (5) 炭素 14 環境中移行モデル化の現状と EMRAS での展開
(京大) 高橋知之 (原子力機構) 小嵐 淳